

41 キリアイ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris falcinellus

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパ北部からシベリア北部などで繁殖し、繁殖後はエチオピアからアジア南部などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来する。干潟、河口、海岸の砂浜や埋立地に生息し、甲殻類やゴカイ類、昆虫類の幼虫などを採食する。水田にも飛来することがある。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、★西宮市、伊丹市、加古川市、三木市、★高砂市、★南あわじ市、淡路市、稲美町、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個 体 数 激 減	分 布 域 激 減	餌 の 可 用 性 の 低 下	特 殊 競 争 圧	特 殊 捕 食 圧	特 殊 繁 殖 環 境	特 殊 採 餌 環 境	特 殊 休 息 環 境	局 地 的 繁 殖	希 少
	○	○				○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に5月と8-10月に生息する。県南部での記録がほとんどである。1969年9月には姫路市白浜で20羽群の記録もあるが、多くは単独か数羽の記録である。多くの生息地は失われており、個体数は減少している。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。